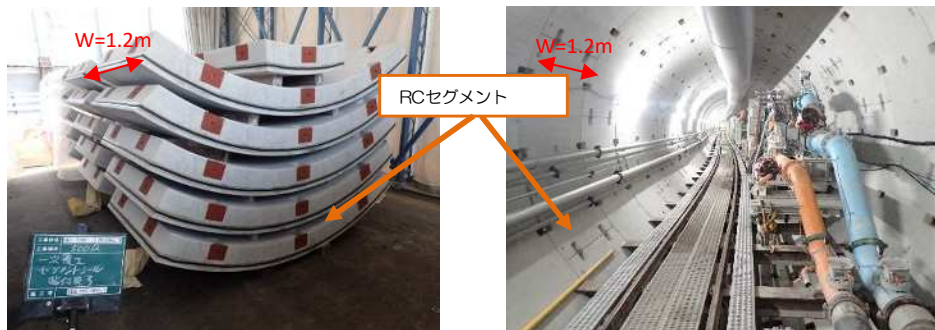


第5号では、地下トンネルの内壁にどのような部材を使用しているか紹介します。  
地下トンネルの中にシールド機で掘り進めるために必要な設備を設置し、掘り進めながらセグメントと呼ばれる部材でトンネル内壁を築造しています。

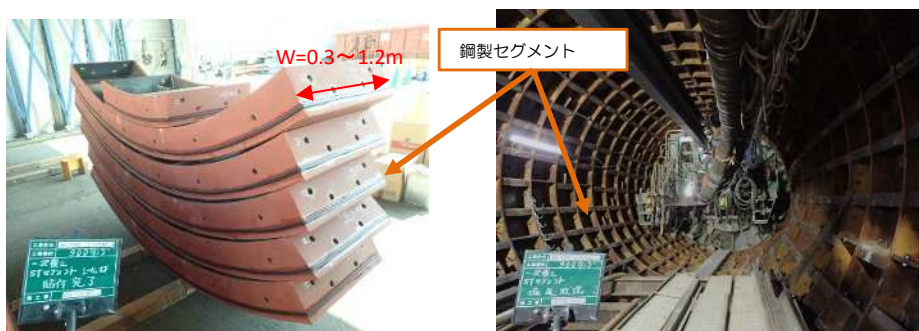
## 【RCセグメントについて(直線部)】

RCセグメントは、トンネルの内壁の主たる部分を構成しており、工場で製作された鉄筋コンクリート構造の部材です。



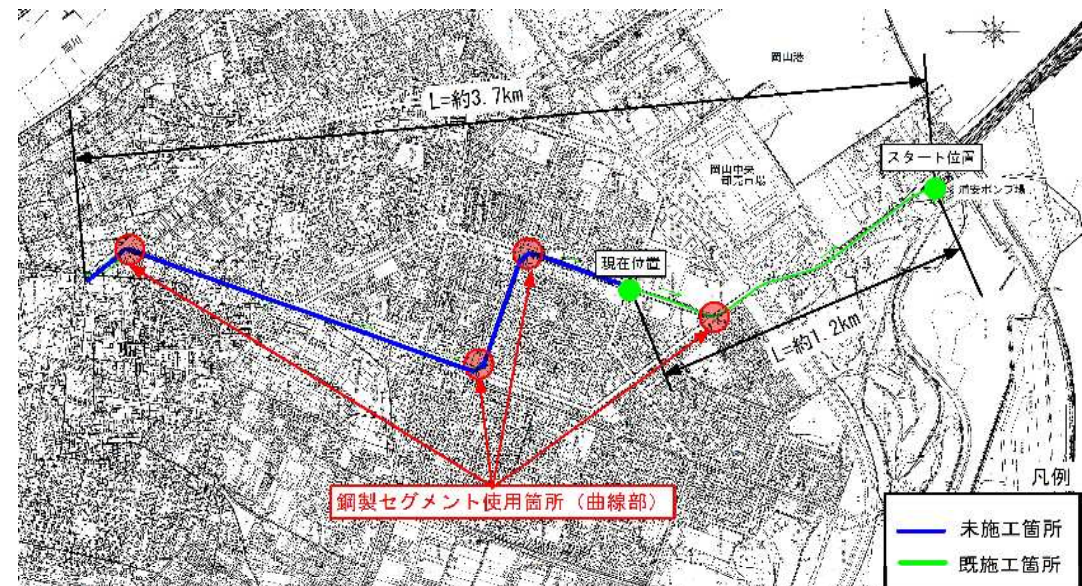
## 【鋼製セグメントについて(曲線部)】

鋼製セグメントは、鋼材を主材料としたトンネル内壁の部材です。  
曲線部など、RCセグメントでは設置が困難な箇所において、軽くて加工しやすい鋼製セグメントが採用されています。



## 地下トンネル築造状況

シールド機は現在、スタート位置の浦安ポンプ場から約1.2km地点まで掘り進めており、深さ約18mのところ地下トンネルを築造しています。



地下トンネルを形作っている材料も、条件に合わせて  
様々なものが使われているんだネ！

